

「農民美術・児童自由画100年展」開催概要

1919（大正8）年、版画家・洋画家として知られる山本鼎（1882-1946）が始めた「農民美術運動」と「児童自由画教育運動」。農民の手工芸品として始まった「農民美術」の生産は、大正から昭和初期にかけて一時全国に広がりました。現在は、長野県上田地域の伝統的工芸品として定着し、白馬・大町など県内各地にも影響を及ぼしました。一方、正確な模写を評価する大正期の学校教育を打破し、子どもたちの創造性に着目した「自由画」の理念も、今日の図工美術教育の基礎として受け継がれています。本展は、100年を迎えた両運動の果たした意義を見つめ直し、今後の可能性を探ります。

○主催 農民美術・児童自由画100周年記念事業実行委員会
（上田市・上田市教育委員会／長野県農民美術連合会／神川山本鼎の会）

○共催 信濃毎日新聞社

○後援 長野県・長野県教育委員会

○助成 長野県 地域発 元気づくり支援金

○会場 サントミュージゼ 上田市立美術館

○会期 2019年11月30日（土）～2020年2月24日（月・祝）

○休館日 火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日）／12月29日～1月3日

○開館時間 9:00～17:00（最終入場16:30）

○観覧料 一般700円、高校大学生500円、小中学生300円
※上田地域定住自立圏構成市町村在住の小中学生は無料

○展示構成

【序章 芸術家 山本鼎】

山本鼎の油彩・版画・農民美術デザイン画・著作等

【農民美術運動】

農民美術研究所のサンプル資料、長野県内や全国各地で生産された農民美術、農民美術デザイン画、運動に関わる著作・書簡・記録写真等

【現代の農民美術】

2019年現在、長野県内で制作を続けている農民美術とその流れを汲む作家を紹介する。
生産地は、上田市・東御市・須坂市・白馬村・大町市・安曇野市・上伊那郡箕輪町。

【児童自由画教育運動】

木村荘八など自由画に関わる作家の作品と資料、「赤い鳥」「金の船」「子供之友」等の児童向け雑誌、大正から昭和にかけての児童自由画作品等

○オープニングセレモニー

日時 2019年11月30日（土）14:00～14:30

会場 サントミュージゼ 上田市立美術館 1階 市民アトリエ・ギャラリー

○記念シンポジウム

(1)「児童自由画教育運動と美術教育」

日時 2019年12月21日（土）13:30～15:30

会場 サントミュージゼ 上田市立美術館2階ホワイエ

(2)「農民美術の可能性を探る」

日時 2020年1月12日（日）13:30～15:00

会場 サントミュージゼ 1階多目的ルーム

○100年リレートーク（展示解説）

日時 2019年12月14日（土）・2020年1月18日（土）・2月8日（土）13:30～

内容 上田・白馬・大町の農美作家、大学教授、学芸員等によるリレー形式の展示解説

○クレパス画講座

日時 2020年1月11日（土）

内容 クレパス画を描くコツを学ぶ（高校生以上対象）

○まちなかへの「こっぱ人形」の展示

松尾町商店街、海野町商店街、原町商店街等の協力を得ながら、まちなかの店舗に大正時代の「こっぱ人形」を展示して、上田の伝統的工芸品「農民美術」の発祥100年を祝う。同時に記念展の告知とする。（開催時期 2019年12月～2020年2月）

○小中学校児童生徒への記念展招待

【農民美術に関する展示】



全国各地の農民美術（大正時代～戦前）

現代の農民美術



上田の農民美術



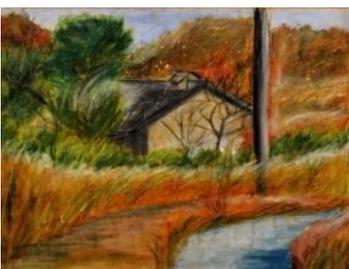
白馬の木彫（農民美術）



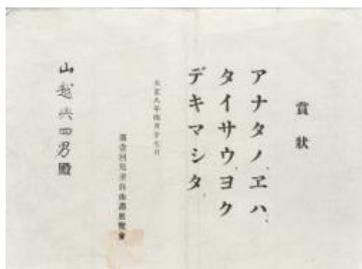
大町の木彫（農民美術）

※このほか安曇野市・上伊那郡箕輪町の農民美術作家も紹介予定（上田市内を含め合計35名程度）

【児童自由画に関する展示】



神川小学校の児童自由画



子どもたちへの賞状



児童雑誌『子供之友』